

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 12 日

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまち
施策No.	26	施策名	豊かな長寿社会の実現
主管課名	社会福祉課	主管課長名	吉川 高広
関係課名	税務課、健康センター、都市計画課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康で生きがいをもって、積極的に地域活動に参加しています。 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けています。 ・介護保険事業が健全に運営され、充実したサービスが提供されています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら要介護状態になることを予防するため、健康の保持・増進や積極的な社会参加に努めます。 ・要介護状態となった場合でも、適切な福祉サービスなどを利用することで、自分もっている能力の維持向上に努めます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動や趣味教室などの生きがい事業の充実を図ることにより、高齢者の積極的な社会参加を促します。 ・高齢者が安心して在宅で生活することができるよう、食事や買物、ごみ出しなどの生活支援サービスを充実します。 ・日常生活において支援が必要な人に対して、必要な介護保険サービスを提供します。
	その他	

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<p>魚津市の高齢化率は27%を超え、全国平均よりも4ポイント以上も上回っています。いわゆる「団塊の世代」が高齢期に到達することにより、今後ますます高齢者の増加が見込まれます。核家族化の進展による一人暮らし高齢者の増加、認知症高齢者の増加、在宅医療や在宅介護のあり方に対するニーズの多様化など、高齢者を取り巻く様々な面で課題が山積しており、介護予防の推進、認知症高齢者対策や高齢者とその家族を地域全体で支援する体制づくりが急務となっています。</p>
--------------------	---

施策No.	26	施策名	豊かな長寿社会の実現
-------	----	-----	------------

基本事業名①		事業内容(活動内容)							
社会参加の促進		老人クラブ活動や趣味教室などの生きがい事業の充実を図ることにより、高齢者の生活機能を維持し、積極的な社会参加を促します。							
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
老人クラブ事業		老人クラブの活動を支援することで、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動の促進を図ります。							
地域介護予防活動支援事業		老人クラブ会員を対象とした趣味教室や福祉センターにける介護予防教室などを開催します							
高齢者いきがい事業		老人趣味の家での活動やねんりんピックなどへ派遣助成など、高齢者のいきがい活動への支援を行います。							
シルバー人材センター事業		シルバー人材センターの運営費の一部を助成することで、センターの安定運営を支援します。							
基本事業①の目的 【意図】		高齢者が、生きがいをもって、心身ともに健康的に暮らし続けられます。							
成果指標名	単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
老人クラブ加入率	%	36.5	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	40.0	45.0
			35.4						
高齢者の地域活動の延参加者数	人	29,895	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	35,000	40,000
			28,000	31,000	32,000	33,000	34,000		
基本事業名②		事業内容(活動内容)							
高齢者の生活支援サービス充実		高齢者が安心して在宅で生活することができるよう、食事や買物、ごみ出しなどの支援を行い、在宅生活を支えます。							
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
地域自立生活支援事業		介護保険には該当しないが、自立生活が困難な高齢者に対して、配食サービスやホームヘルプサービスを提供します。							
家族介護者支援事業		在宅の要介護者がいる世帯に対して、おむつ等の介護用品の購入助成などを行い、家族介護者の負担軽減を図ります。							
地域包括支援センター運営事業		高齢者の総合相談窓口として、高齢者の皆さんがいつまでも住みなれた地域で安心して生活を続けられるように介護・福祉・健康・医療など、様々な面から支援を行います。							
基本事業②の目的 【意図】		高齢者が、いつまでも住みなれた地域で安心して生活を続けられます。							
成果指標名	単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
自立高齢者の割合	%	83.2	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	84.0	84.5
			82.1	83.3	83.4	83.6	83.8		
在宅で生活している人の割合	%	93.5	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	94.2	94.6
			93.6	93.7	93.9	94.0	94.1		
基本事業名③		事業内容(活動内容)							
介護保険サービスの充実		加齢にともなう病気などで要介護状態となり、日常生活において支援が必要な人に対して介護保険サービスを提供します。							
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
介護サービス費給付事業		介護が必要な人に対して、居宅サービス、施設サービス等の介護保険サービスを提供します。							
介護認定審査事業		認定申請を行った被保険者について、認定調査を実施し、主治医意見書等の資料を付して、審査会において介護度の認定を行います。							
介護相談員派遣事業		介護相談員が、介護サービス提供の現場を訪問し、利用者のサービスに関する不満、要望や疑問点等を聞き取り、その内容や気づいたことやその対応について、サービス事業所及び保険者へ報告することで、介護サービスの質的な向上を図ります。							
介護保険事業計画推進事業		市民ニーズを踏まえた計画の策定と計画の適正な推進に努めます。							
基本事業③の目的 【意図】		支援が必要な人が、必要な介護保険サービスを受けられます。							
成果指標名	単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
要支援・要介護認定率	%	16.3	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	16.1	15.8
			17.5	16.3	16.2	16.2	16.1		
地域密着型サービス施設数	箇所	6	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	10	14
			6	7	7	8	9		
基本事業名④		事業内容(活動内容)							
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)							
基本事業④の目的 【意図】									
成果指標名	単位	21年度 実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	26	施策名	豊かな長寿社会の実現
-------	----	-----	------------

22年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)
	①社会参加の促進 高齢者の数は増加していますが、老人クラブ加入率は、横ばい若しくは減少傾向にあります。 同様に、趣味教室の参加者も減少傾向が続いています。 ②高齢者支援サービスの充実・③介護保険サービスの充実 施設サービスについては満員(床)の状態が続いていることから、在宅サービスのニーズが増加してきています。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
	本市では、高齢者一人当たりの介護保険施設定員数が全国平均・富山県平均を上回っていますが、近年は、施設への入所希望者が多く、待機状態が続いています。 また、各施設へ介護相談員の派遣や介護サービス事業者を対象とした研修の実施などにより介護サービスの質の向上に努めています。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
	・施設サービスへのニーズが高まっています。 ・認知症高齢者に対策がクローズアップされてきています。 ・在宅医療や在宅介護のあり方に対するニーズが多様化してきています。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)
	①社会参加の促進 老人クラブやシルバー人材センター、介護予防のための「おたっしゃ介護予防教室」、地域のボランティア活動である「いきいきサロン」などを支援しました。 ②高齢者の生活支援サービス充実 高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを充実するとともに、健康センターや民生委員、社協と連携を図りました。 ③介護保険サービスの充実 大町地区の地域密着型小規模多機能施設及び片貝地区の地域密着型特養施設整備に対して助成を行い、在宅サービスの一層の充実を図りました。
	3. 施策の課題認識及び23年度の取り組み状況(予定) (22年度末で残った課題、既に23年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)
①社会参加の促進 老人クラブの会員の減少傾向に歯止めをかけるためには、対象者のニーズの変化への対応や会員であることの必要性やメリットについて、十分に話し合い、高齢者生きがい事業等の今後のあり方を模索していかなければなりません。 ②高齢者の生活支援サービス充実 地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口や介護予防などにおいて重要な機能を有しています、近年職員の確保に苦慮している状態が続いているので、社会福祉法人への業務委託を基本として、機能の分割・再編を進める必要があります。 ①②の共通事項として、市民ニーズ調査や関係団体、関係機関との意見交換を十分に行い、市民が住みなれた地域で安心して暮らすことのできる福祉空間づくりを目指す第2期地域福祉計画及び高齢者福祉計画を策定します。 ③介護保険サービスの充実 第5期介護保険事業計画を策定します。市民ニーズの高い施設サービスの拡充が必要と考えられますが、保険料負担とのバランスに十分配慮した計画とします。 また、経田地区に地域密着型の小規模多機能施設整備に取り組み、在宅サービスの一層の充実を図ります。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※今後の施策の方向性※	一括維持
	<p>①社会参加の促進及び②高齢者の生活支援サービス充実に関しては、改善・改良を重ねながら現状を維持していきます。</p> <p>③介護保険に関しては、施設サービスを抑制してきたことから、在宅サービスの給付量が著しく増加しています。また、施設サービスについては満員(床)の状態が続いていることから、施設サービスへの市民ニーズが高まってきています。そのため、施設サービスの拡充も含めて、在宅サービス及び地域密着型サービスの給付量と保険料負担とのバランスを慎重に検討した上での計画的なサービス提供に努めます。</p> <p>また、高齢化の進展に伴い要介護認定者も増加傾向にあります。この増加率を少しでも低く抑えるためには介護予防事業の充実が必要です。</p>	

行政経営戦略会議指示事項	更なる行政サービスの拡充は困難なことが予想される。現状のサービスレベルの維持に努めるほか、事業の組替え等により充実を図ること。
--------------	---

施策の トータル コスト	区 分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円							
C. 事務事業に要する年間総時間	時間							
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円		0	0				
E. トータルコスト (B+D)	千円		0	0				
効率性 指 標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円	0	0				
	F. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	0	0				
	G. 人件費 (定義式 : D/人口)	円	0	0				
	同 上	円	0	0				
	同 上	円	0	0				

施策No.	26	施策名	豊かな長寿社会の実現					
H. トータルコスト (定義式 : E/人口)								